

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- a. 企業間の連携（オープンイノベーション、M&A 等の事業承継支援、取引先のテレワーク導入支援 等）
- b. IT 実装支援（共通EDIの構築、データの相互利用、IT人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援 等）
- c. 専門人材マッチング
- d. グリーン化の取組（脱・低炭素化技術の共同開発、省エネ診断に係る助言・支援、生産工程等の脱・低炭素化、グリーン調達 等）

1. 環境配慮型農業の実践

化学肥料や農薬の使用を最小限に抑え、有機質肥料や土壤改良資材の活用を推進することで、圃場環境と生態系への負荷軽減に努めています。

- ・土壤診断に基づく施肥設計により、肥料を最適量で施用し、過剰施肥を防止しています。
- ・中干しを適切な時期に行い、メタンの発生を抑制し稲の健全な生育と倒伏防止につなげています。
- ・中干し効果を高めるために溝切機を活用し、排水性の向上と効率的な水管理を実現しています。

2. 農業副産物の有効活用

当社は、農業から発生する副産物を単なる廃棄物とせず、地域資源として再利用する取り組みを行っています。

- ・収穫後に発生する稻わらや糀殻は、焼却や廃棄を行わず、田んぼに直接すき込んで利用することで、有機物として土壤に還元し、土づくりに役立てています。
- ・糀殻は土壤中で分解されにくい構造を持つため、通気性や排水性の改善、地温の安定化に貢献しています。
- ・このような自然循環型の取組により、廃棄物の削減と地力の維持向上を両立させ、環境負荷の少ない農業経営を実現しています。

- e. 健康経営に関する取組（健康経営に係るノウハウの提供、健康増進施策の共同実施 等）
- f. BCP/事業継続（取引先の災害時等の事業継続計画策定の助言 等）

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行のはは正に積極的に取り組みます。

3. その他（任意記載）

2026年1月1日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

有限会社 柏野庄送

企 業 名

代表取締役 柏野忠男

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。